



平成 28 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 日華化学株式会社
 代表者名 代表取締役社長 江守 康昌
 コード番号 4463 東証・名証第 2 部
 問合せ先 執行役員 管理部門 副部門長
 澤崎 祥也
 電話番号 0776-24-0213

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 3 月 4 日付の「NICCA 中期経営計画について」（以下、「中期経営計画」）において、平成 28 年度（2016 年度）を最終年度とする 3 カ年中期経営計画を公表しておりますが、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 修正の内容

【連結業績目標】

（単位：百万円）

	平成 28 年度目標 (前回発表時)	平成 28 年度目標 (今回修正)	増減
売上高	50,000	50,000	—
営業利益	4,000	3,000	△1,000
ROA（総資産利益率）	8.0%	6.0%	△2.0%

（事業別業績）

（単位：百万円）

		平成 28 年度目標 (前回発表時)	平成 28 年度目標 (今回修正)	増減
売上高	化学品	40,000	38,500	△1,500
	化粧品	10,000	11,000	1,000
	その他	—	500	500
	計	50,000	50,000	—
営業利益	化学品	3,300	2,500	△800
	化粧品	2,300	2,300	—
	その他	—	100	100
	消去及び全社	△1,600	△1,900	△300
	計	4,000	3,000	△1,000

（ご参考：過年度連結業績）

（単位：百万円）

	平成 26 年 12 月期 実績	平成 27 年 12 月期 実績
売上高	39,930	46,526
営業利益	2,864	2,364
ROA（総資産利益率）	7.4%	5.4%

(ご参考：過年度事業別連結業績)

(単位：百万円)

		平成 26 年 12 月期 実績	平成 27 年 12 月期 実績
売上高	化学品	31,915	35,696
	化粧品	8,015	10,644
	その他	—	185
	計	39,930	46,526
営業利益	化学品	2,485	2,251
	化粧品	1,825	1,812
	その他	—	91
	消去及び全社	△1,447	△1,792
	計	2,864	2,364

2. 修正の理由

当社は、全社基本ビジョン「NICCAブランドを浸透拡大し、GLOBAL BESTになる」を目指し、「中期経営計画」で定めた業績目標の達成に向けて取り組んでまいりましたが、直近の業績動向及び事業環境などを踏まえて、数値目標を精査いたしました結果、最終年度となる平成 28 年度の連結業績目標の見直しを実施することといたしました。

(連結売上高)

化学品事業におきまして、当社グループのターゲット市場である繊維産業は、世界的な人口増加等を背景に、今後も拡大していくものと見込んでおります。しかしながら、国内における既存産業の成熟、中国景気の減速やグローバル市場における競争の激化などにより、前回発表の目標を下回る見込みであります。

一方、化粧品事業におきましては、マルチブランド展開が堅調に推移した事に加え、連結子会社の山田製薬株式会社における製造受託事業や海外子会社が大幅に伸長したことなどから、1年前倒しで連結売上高 100 億円を達成いたしました。平成 28 年度につきましても、引き続き好調に推移するものと見込んでおり、連結売上高は、前回発表を上回る 110 億円を予定しております。

また、平成 27 年度の期中に連結子会社化した 2 社の売上高が、平成 28 年度は通年で寄与することなどから、連結売上高の目標に変更はありません。

(連結営業利益・ROA)

連結営業利益につきましては、激変する事業環境の中、将来の成長に向けた積極的な投資を継続していくほか、健全な経営基盤の再構築及びグループガバナンス強化を目的としたグローバル統一の基幹システムの整備等を実施していくことから、前回発表の目標を下回る見込であります。

また、経営指標につきましても、連結営業利益の減少及び総資産の増加を勘案し、ROAは 6.0% となる見込であります。

なお、「中期経営計画」で掲げております、全社基本ビジョン、グループ基本戦略、事業分野別の取り組みにつきましては、変更はありません。当社グループは、永続的な成長を見据え、引き続き各施策の着実な実行とさらなるスピードアップを図り、修正目標の達成に取り組んでまいります。

以上